

ヘルパー研修事業

公益社団法人 兵庫県聴覚障害者協会

〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町2-2-8 新神戸ビル東館2階

助成事業の概要

①実施目的

当事業所は、介護を必要とされている聴覚障害高齢者に対し、聴覚障害者や手話の出来るヘルパーを派遣し意志の疎通をはかり、充実した介護サービスの提供を行っています。5割を超える聴覚障害者ヘルパーを含めたヘルパーの人材育成が重要であり、より高度な介護サービスを提供できるよう、手話通訳を設置して定期的な研修会を開催することが必要とされています。

2013年度は貴会助成金の承認を得て、下記の通り5回の研修会を開催する事が出来ました。

②実施時期・実施内容

第1回 平成25年 6月30日

「さあ！体を動かそう！」ヘルパーの健康保持を目的とする学習

第2回 平成25年 9月 7日

「特別養護老人ホーム いこいの村」等施設見学
聴覚障害者が主な利用者である、京都の各種施設の現場を見学し、生活実態を学習

第3回 平成25年12月 1日

「排泄ケアについて」

排泄アドバイザーを招き、排泄のメカニズムや、気持ちの良いオムツのあて方等を学習

第4回 平成25年 2月 1日

「ボディメカニクス」

ニチイ学館／利用者の負担にならない身体介護の方法他を学習

第5回 平成25年 3月30日

「糖尿病について」

クリニックの医師を招き、糖尿病について学習

事業の成果

当事業所の特性として聴覚障害高齢者に聴覚障害壮年者がヘルパーとして介護の手を差し伸べているという事です。より高度な介護サービスを提供出来るよう、定期的に研修会を開催いたしました。今年度は貴会の助成金を得て、技術面・精神面で経験豊かな講師を迎え、より充実した研修会を開催する事が出来ました。又、聴覚障害を持つヘルパーの情報補償の手段として、専任の手話通訳士を依頼し、より正確な情報を伝えることができました。更に、当事業所は兵庫県下全域を対象としているため、研修会の開催地は中部地区である神戸市内に限られてきます。各地に配しているヘルパーの交通費補助金として一部を補助する事ができ、参加の意欲を高め、参加者の負担を軽減することが出来ました。

個々の研修成果は下記の通りです。

第1回：ヘルパーの健康保持に役立てられるよう企画。体の柔軟性が大切な事・転倒防止の為、足指／足首のリンパマッサージ等を学習した。

第2回：京都で高齢ろうあ者・難聴者・中途失聴者に「安心と豊かさを実感できる暮らし」を提供されている『特別養護老人ホーム いこいの村』を訪問。施設での聴覚障害者の日常生活を学習。又、デイサービスやパン工房も訪問し、聴覚障害者との交流の機会も持てた。

第3回：おむつフィッターを招き、排泄のメカニズムを学び、利用者に合ったオムツ選びの方法・つけ方を学習した。

第4回：ニチイ学館の施設内で、専門講師の指導を受けた。今回は特に場面に合わせた杖の使い方を学習した。

第5回：利用者で最近特に多い「糖尿病」について、内科の医師を招き原因・症状・食事・運動について詳しく学習した。

■ 成果の広報・公表

各回の研修内容は、公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会が毎月1回発行する機関誌「ろうあ兵庫」に掲載し広報しています。「ろうあ兵庫」は約900名の会員に配布されます。購読者からは事業の問い合わせもあり、定期的に高度な研修会を開催している事に信頼を得られています。

■ 今後の展開

当事業所の登録ヘルパーも高齢者が多くなり、日々の身体介護等に支障をきたす事も発生しています。ヘルパー自身が、自分に負担がかからないようなボディメカニクスを習得し、長く業務を続けていく事につなげる事が出来ます。

また、国の方針が在宅介護に重きを置いているため、ご利用者の病気についての詳細な知識が必要となってきます。第5回の「糖尿病について」のように、病気の発症の原因や注意事項を学んだ事により、介護サービスを提供する際、食事内容に工夫を加え、無理強いしない運動方法等をサービス内容に含めて実施できるよう努めます。

今年度、貴団体の助成金で開催した研修内容を活かし、在宅のろうあ高齢者や重複障害者の豊かな日常生活を支えるために、日々鍛錬に努めてまいります。